

令和5年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

令和5年度相談支援に繋がる、親なき後から一人暮らしになるケースの相談等がさらに増え、生活支援センターの支援（生活相談・日中の居場所・活動の場の提供・食事サービス、訪問、通院同行、自立生活アシスタント等）に繋げることができた。特に単身者の食事サービスの利用は増えてきている。栄区の高齢化に伴い区内地域ケアプラザとの窓口を担当職員制とし、地域の精神障害者を抱える家族の状況を把握する為、各地域ケアプラザとの定例会を実施し生活支援センターに来れない方へは出前相談も実施した。又、今年度から親（30代後半～50代前半）が精神障害者で、子（小学生低学年～高校生）が親の面倒をみるヤングケアラー問題の相談も少しずつ増えてきており、その家族の訪問による支援にも取り組んだ。地域において自立支援協議会精神部会（精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム）の場で地域課題、多職種連携を意識して取り組み、地域のニーズに対する相談と支援体制を生活支援センターが精神保健福祉の中核的な役割を担い、精神障害者や家族が地域で安心安全に生活できるよう課題の抽出と解決に取り組みました。

■ 事業内容

- 1 開所日数 : 309日
- 2 登録者数 : 1,347名（男性 784人、女性 563人）
- 3 来館者数 : 6,970名
- 4 事業実施状況
 - (1) 本体事業
 - ア. 日常生活支援
電話相談 4,710件、面接 569件、フリースペース対応 686件
訪問・同行 244件、その他 8件
 - イ. 有料サービス
夕食サービス 2,945名、入浴サービス 294名、洗濯サービス 167名、インターネット 46名
 - ウ. 嘱託医相談
相談回数 24回 相談者 52名
 - エ. カウンセラー相談
相談回数 12回 相談者 22名
 - オ. 自主事業
 - *定例事業
誕生会（9回：73名）、利用者ミーティング（12回：106名）、
姫の会（1回：12名）、リカバリー講座（12回：90名）、
ゆるっと女子会（3回：15名）、就労座談会（2回：14名）
ゆるゆる Art 倶楽部（6回：58名）、かいがーず（3回：20名）
 - *その他イベント等
初詣（8名）、プチサマーフェスティバル（35名）、かき氷大会（17名）
クリスマス会（29名）、お花見（17名）、いたちまつり（550名）、
ようこそ出会い広場（6名）、区民まつり（12名）

カ. 普及啓発活動

例年実施している生活支援センター及び精神障害への理解に対する関係機関及び団体向けの勉強会、説明会等は少なかったが、地域ケアプラザ職員向け勉強会、ケアマネージャー勉強会、後見的支援制度あんしんマネージャー研修において、生活支援センターの紹介や機能など、地域に果たす役割について講義した。

キ. その他

- ・区内地域ケアプラザとの定例会を実施。区内地域ケアプラザに対し相談担当職員を配置し、精神障害者に関わる家族の相談、情報共有、支援方法等場を設けるとともに、7ヶ所中4ヶ所であるが地域ケアプラザでの出前相談会を実施している。
- ・令和5年度は、家族会・区役所・生活支援センター共催の精神科家族教室を実施。講師に招き、一般家族の方向けに「家族ががんばりすぎないためのアドバイス」を実施した。

(2) 自立生活アシスタント事業／自立生活援助事業

地域において単身で生活する精神障害者（自立生活アシスタント事業該当者）の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。支援に当たっては、専任職員だけでなく支援内容によっては他の職員及び関係機関との連携、協力のもと事業の充実を図っています。センター内で自立生活アシスタントチームとして月1回のミーティングを実施、利用状況・目的・ケース問題を共有し、問題解決に向けて話し合いをしている。

自立生活アシスタント利用終了者については、利用者及び関係機関と相談の上、センター本体事業へと繋ぎ対応した。

尚、自立生活援助事業については、区役所と連携し実施について検討しているが、今年度利用者はいなかった。

○支援内容

- 1 金銭管理（計画性の指導・助言・管理）・・・あんしんセンターとの連携
- 2 衣食住支援・・・ヘルパー事業所との連携
- 3 コミュニケーション支援
- 4 健康管理、服薬指導及び管理・・・訪問看護、病院との連携
- 5 住環境整備（部屋の片づけ、引越しの援助、）・・・ヘルパー事業所、不動産業者との連携
- 6 生活のリズム作り
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問（生活状況の把握、精神的安定）
- 9 その他日常生活における問題の相談

○登録者数 15名（相談中 4名、終了者 2名）

(3) 退院サポート事業／地域移行・地域定着支援事業

コロナウィルス感染症の影響が緩和され、精神科病院入院中の退院サポート事業に登録されている患者様の面会も徐々に増えてきた。病院との協働活動は再び再開したが、今後どのように進めて行くか協議中である。令和5年度は退院サポート事業及び地域移行・定着事業も新規の相談依頼は滞っているのが現状である為、積極的に医療機関との関係性を強化し、退院可能な方への依頼が増えるよう今後も努めたい。

○支援者数 3名（相談中 0名、退院後フォロー 1名）

(4) 計画相談事業（指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業）

- ・区役所障害者支援担当と連携し、障害福祉サービスを利用する利用者の方々を対象に適切な社会資源の活用及び関係機関との連携を行い、利用者が安心して日常生活を過ごせるよう支援しました。
- ・区内精神障害者対象の計画相談事業所が少ないため、区内の事業所 4 ヶ所、区外で栄区をエリアとしている近隣区の事業所 2 ヶ所と集まり「栄区計画相談連絡会」を実施、情報共有、ケース共有・検討など定期的な打合せを行っている。

○総件数 26 件（特定相談件数 26 件） 相談中 4 件

(5) 防災訓練

- ・小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同で消防避難訓練を第 1 回令和 5 年 9 月 22 日、第 2 回令和 6 年 3 月 21 日、共に地震発生に伴う施設内の火災発生を想定し実施する。
又、両職員による避難経路確認及び消火設備確認を行った。
- ・福祉避難所開設訓練
令和 6 年 3 月 21 日小菅ヶ谷地域ケアプラザと共同で実施。職員で段ボールベッド組み立て及び設置訓練、近隣住民の訓練参加者に要援護者・介助者役となっただき、避難者カードの記入と段ボールベッドの体験を行った。

■法人及び関係機関等会議及び行事 等

(1) 横浜市、栄区関係

- ・横浜市生活支援センター施設長会議・実務者会議、三機関合同連絡会、地区支援チーム会議、成年後見サポートネット会議、アウトリーチ支援会議、自殺予防対策分科会、福祉避難場所連絡会、栄区地域自立支援協議会、精神部会・相談支援部会、栄区ネットワーク会議、三機関定例カンファレンス、各地域ケアプラザ定例会、地区支援チーム会議、とんぼ（後見的支援制度）定例会、自殺対策キャンペーン、豊田地区障害児者連絡会（COCOMIMI）、区民祭り、新年祝賀会、各種研修会、

(2) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

- ・生活支援センター連絡会、南部若者支援連絡会、さかえ会（家族会）、家族教室、サポートセンター経運営委員会、みちくさみち理事会、こだちの会運営委員会、小菅ヶ谷ケアプラザ運営委員会、小菅ヶ谷つながるプラン全体会・分科会、移動情報センター推進会議、後見的支援室とんぼ報告会、ようこそあい広場、南部若者支援連絡会、地域ケア会議、栄区社会福祉大会、さかえ福祉フェスタ、区社協専門機関部会障害者支援分科会、駅前祭り、小菅ヶ谷地域敬老会、障害者週間キャンペーン、

(3) 市精連関係

- ・市精連相談部会
- ・市精連研修会

(4) 法人関係

- ・所長会議、研修委員会、広報委員会、虐待防止等対策委員会、地域貢献部会、作業所部会
- ・法人理事会、評議員会
- ・法人全体研修、法人研修、階層別研修

■ 研修会参加

(1) 外部研修

- ・ 支援、援助技術関係（15 回）、
- ・ 医療、薬関係（4 回）、
- ・ 災害関係（1 回）、
- ・ メンタル、リスク関係（2 回）、
- ・ その他、一般関係（0 回）
- ・ センター連絡会新任研修（4 回）

(2) 法人関係

- ・ 法人研修（12 回）

■ 実習生受け入れ

(1) 精神保健福祉士関係実習 ： 6 名

(2) 看護関係 ： 40 名

(3) その他 ： 0 名

以上

令和5年度 栄区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和5年4月1日 至令和6年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
Ⅰ 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	83,998,000	76,735,241		7,262,759	
2 指定管理料収入(変更)	0	0		0	
3 法人負担金	0	0		0	
4 相談支援事業に要した交通費収入	0	0		0	
5 自立支援給付費収入	0	1,639,453		▲ 1,639,453	
6 食事サービス収入	0	1,429,300		▲ 1,429,300	
7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入	0	65,833		▲ 65,833	
8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設等物価高騰対策支援金等)	0	0		0	
収入合計	83,998,000	79,869,827		4,128,173	

Ⅱ 支出の部					
戻入精算	1 人件費	63,188,000	57,698,396	0	5,489,604
	所長				
	常勤職員				常勤職員5名
	非常勤職員	14,068,000	12,274,157		1,793,843 非常勤職員4名
	アルバイト	4,515,000	2,946,610		1,568,390 アルバイト2名
	調理アルバイト	2,853,000	3,950,933		▲ 1,097,933 調理職員6名
	嘱託医賃金	989,000	824,966		164,034 嘱託医3回/月 カウンセラー1回/月
	法定福利費	6,514,000	6,803,129		▲ 289,129 健康保険・厚生年金他
	退職金給与引当金	840,000	854,740		▲ 14,740 中退金
	福利厚生費	170,000	111,172		58,828 健康診断・インフルエンザ他
	労務厚生費	60,000	52,500		7,500 ハマフレンド
	2 施設管理費	6,800,000	6,730,014	0	69,986
	光熱水費	3,700,000	3,413,547		286,453 電気・ガス・水道
	庁舎管理費	3,200,000	3,382,300		▲ 182,300 施設管理・清掃他
	利用者負担金充当金	▲ 100,000	▲ 65,833		▲ 34,167 (入浴・洗濯・インターネット収入から)
	3 運営費	8,250,000	5,574,589	0	2,675,411
	旅費	400,000	323,317		76,683 旅費交通費
	消耗品費	600,000	567,769		32,231 事務用品他
	印刷製本費	250,000	223,272		26,728 チラシ作成他
	修繕費	1,500,000	96,492		1,403,508 執行状況報告
	通信運搬費	1,200,000	1,004,711		195,289 電話・ネット・切手他
	賃借料	2,000,000	1,821,953		178,047 車両・PC・コピー機他リース
	備品等購入費	500,000	341,990		158,010 防災・感染症対策備蓄品他
	保険料	300,000	336,019		▲ 36,019 施設賠償保険
	雑費	1,500,000	859,066		640,934 研修費、会費、HP改修費、その他
	4 本部繰入金	5,760,000	5,295,000		465,000
	5 食事サービス費の支出	0	1,437,242		▲ 1,437,242
	6 その他の実費からの支出	0	0		0
支出合計		83,998,000	76,735,241	0	7,262,759

Ⅲ 戻入の部					
人件費戻入精算分		5,489,604			
戻入合計		5,489,604			